

# 市子連だより

平成26年7月  
第28号

## 一緒にしよいや!! 子ども会

### ブロック別研修会

### 育成者研修会が開催されました!



平成26年度米子市子ども会連合会のブロック別研修が5ブロックに分かれて、4月に開催されました。子ども会とはどんな活動をするのか、市子連の役割は何かなど、育成者や指導者にとって大切なことを学べた良い機会でした。

また子ども会活動をサポートしてくれる団体の紹介もありました。「米子市ジュニアリーダーズクラブ」の紹介では、ジュニアリーダーの高校生が手遊びをまじえての遊びを実演してくれました。多くの団体が子ども会活動に協力している事が分かりました。これからの1年間の活動に役立つ研修でした。

僕は、ジュニアリーダーズクラブの永見悠也です。僕たちと一緒に子ども会をしませんか?

### 米子市リーダー育成研修

5月17日(土)米子市児童文化センターで「平成26年度子ども会リーダー育成研修」のオリエンテーションが行われました。開会式、自己紹介をした後、米子市ジュニアリーダーズクラブの人と一緒にゲームをしたりして親睦を深めました。



さあ、いくよ!  
みんな、楽しもう!!



みんな、よろしく!!

その後、「危険予知トレーニング(KYT)」を行い、班ごとに話し合いました。

知ってる? 子ども会は「子どもの会」なんだよ!

KYTとは、活動中の事故を想定して、活動が安全に行われるように考える練習です。

うーん、どこに危険が潜んでいるのかな?



この1年間、研修を通して、23名の仲間が普段できない色々な経験を積み、各地区のリーダーとして活躍できる子ども達になってほしいと思います。

# 前期育成者研修会

とつとりの子ども達を元気にさせよう 明石 要一先生 (千葉大学名誉教授)

6月15日(日) 米子市児童文化センターにおいて、前期子ども会育成者研修会が、約100人の参加で開催されました。

講演では、子どもの時に本物の自然に触れ、色々な体験をすることが大切であると話をされました。また、時には、想定外のことを体験することによって、大人になっても、困難を乗り越えられることにつながっていくということも話されました。

講演会の途中には、参加者同士が話し合う時間も設けられ、参加者自身もしっかりと考え、かつ、和やかに進められました。

この研修会を生かして、それぞれの地区の子ども会活動に、自然体験の良さを取り入れていただきたいと思います。そして、困難に立ち向かえる子ども達が増えるといいですね。



## 優良子ども会表彰

鳥取県内の単位子ども会で、特に活動が優れた子ども会については、毎年度、表彰が行われています。米子市内の子ども会では、平成25年度には、次の子ども会が表彰されました。

三本松1区子ども会 (義方地区 会員数23人)

子どもが企画段階から主体的に関わって運営して行事ができた。また、他の団体との交流や地域産業、伝統行事を知る活動、体験活動等、様々な活動で子ども会の活性化が図られている。父親が積極的に行事に参加していることもあり、地域をあげての子ども会活動への意欲が感じられる。

福生東2区子ども会 (福生東地区 会員数21人)

地域と連携した活動により、子どもに「地域の子ども会」という意識を持たせるとともに、大人との異世代間交流につながっている。また、地域の伝統行事に積極的に参加し、次の世代につないでいこうという意欲が感じられる。

淀江11区の1子ども会 (淀江地区 会員数19人)

夏祭りでは、子どもが公民館との話し合いから行事の企画運営を行うなど、子どもの主体性の育成に努めるとともに、高学年の児童のリーダーシップの醸成を図った。また、地区の行事に参加し、地区の伝統を知るとともに、地域の大人との交流もできた。

それぞれの子ども会活動の詳しいことが聞いてみたいということであれば、米子市子ども会連合会事務局までお問い合わせください。